

2024年度事業報告（概要版）



2024年度総括的概要

第5期中期ビジョンテーマ（2022～2026）

「地域から世界へ。いま以上に多くの人々が訪れ、暮らし、力強く飛翔する都市『仙台』づくりへの挑戦」

2024年は、能登半島地震という未曾有の自然災害に見舞われ、防災・減災の取り組みや国土強靱化の必要性を改めて認識させられた1年となった。また、マイナス金利政策の転換や衆議院選挙に伴う政権与党の過半数割れに加えて、米国におけるトランプ政権誕生により社会経済環境は大きく変動し、企業を取り巻く状況はかつてないほど複雑さを増している。

地域経済は、物価・エネルギー価格の高騰、人手不足といった深刻な問題に直面しており、とりわけ中小企業は、価格転嫁や賃上げ、デジタル化への対応など、多岐にわたる経営課題に苦慮する状況が続いている。また、9月末にはPSMC半導体工場計画を白紙撤回するニュースに衝撃が走った。

当所では、こうした課題解決を図る一環として若年層の地元企業への就職・Uターンを促進するため、「高校生向け職業体験イベント“未来ビュー仙台”」を初開催し、地元企業の認知度向上に努めるとともに、デジタルツール、設備機器導入を通じた業務効率化を支援した。

地域活性化に向けた動きとしては、次世代放射光施設「ナノテラス」の本格稼働や、東北大学の国際卓越研究大学の認定など、地域の持続的成長に欠かせない基盤が整いつつある。まち中では、7年ぶり仙台開催となった「東北絆まつり」や、一番町四丁目商店街における新たな賑わい創出イベント「Bang BAR SENDAI」の開催など、市民が楽しめるイベントを企画・実施。さらに、通行量調査や中心部商店街の活性化に向けた来街者アンケート調査を実施し、データを地域と共有するとともに、まちいこアプリを活用するなど、商店街の活性化・回遊性向上に向けた取り組みを展開した。

このほか、多様化するニーズに応え、会員サービス事業のさらなる充実を図っていくために2025年度からの会費改定と部会再編成を決定し、今後の組織・財政基盤の強化を図った。

本年度は、この他にも以下に示す事業を重点的に実施し、自己変革に挑戦する地域企業の支援、「選ばれる都市『仙台』」の実現を推進した。

重点項目① 企業活力強化

人手不足など経営環境変化への的確な対応、経営のライフサイクルに応じた伴走型支援

1 人材の確保・育成・定着 大学生向け「地元企業と大学等の就職情報交換会」、「高校生向け職業体験イベント」

学生に地元企業の魅力を伝え、将来的な地元への就職につなげるために、県内就職を希望する学生と地元企業をマッチングさせる「地元企業と学校との就職情報懇談会」を対面とオンラインで2回開催したほか、新たに高校生向けの職業体験イベント「未来ビュー仙台」をマイナビと共催で開催した。

<地元企業と学校との就職情報懇談会>

①対面開催参加内訳：

企業側153社、学校側31校、
支援団体2者

②オンライン開催参加内訳：

企業側48社、学校側19校、
支援団体2者

<高校生向け就業体験イベント>

参加企業数：9社

高校生来場者：約2700人

※(株)マイナビが開催する進学イベントと同時開催



(地元企業と学校との就職情報懇談会)
若手人材の地元定着に向けて
互いに熱心な情報交換が行われた



(高校生向け就業体験イベント)
職業体験ブースの様子

重点項目① 企業活力強化

人手不足など経営環境変化への的確な対応、経営のライフサイクルに応じた伴走型支援

2 人材の確保・育成・定着 セミナー・講習会、検定試験等の開催

デジタル化、DX推進、働き方改革、生産性向上をはじめとした時代に即した課題解決に資する多様なテーマによるセミナー・講習会などを年間を通じて開催したほか、簿記検定試験をはじめとする各種検定試験の施行により、企業の人材育成・リスキニングを支援した。

- ①仙台商工会議所主催セミナー・講習会
：計34回開催、受講者1,388人
- ②東京商工会議所連携オンライン研修講座
：計125本、受講者76人
- ③検定試験受験者
：10,576人（うちネット受験：6,046人）
- ④WEBセミナー
：総視聴本数10,763本、延べ利用者数4,070人



7/9開催 SNS運用&ターゲットを惹きつける
写真の撮り方基本セミナーの様子

重点項目① 企業活力強化

人手不足など経営環境変化への的確な対応、経営のライフサイクルに応じた伴走型支援

3 自己変革の実現を通じた経営力の強化 創業支援、事業承継支援

地域経済の活性化と雇用創出を目指し、日本政策金融公庫仙台支店と締結した「創業パワーアップサポート」に基づき、創業希望者への創業計画書策定や資金調達支援を実施。商工会議所加入者に最大50,000円を助成する「創業応援助成金」事業や開店時の「創業祝い花贈呈」事業に加えて、創業セミナーも実施し、創業および創業後の経営安定化を支援した。

- ①創業融資斡旋件数：41件(23年度36件)
斡旋総額：2億5,734万円(23年度1億5,434万円)
- ②創業応援助成金：46件(23年度49件)
- ③創業祝い花贈呈事業：17件(23年度12件)
- ④創業セミナー：3回(23年度3回)

経営者の高齢化や後継者不在などの課題に対応し、事業・ノウハウの継承に向けた支援を実施。税理士や公認会計士、中小企業診断士らが「事業承継コーディネーター」として活躍し、地域の事業者窓口相談やセミナーを実施。

- ①事業承継窓口相談件数：20件(23年度21件)
- ②事業承継セミナー：2回(23年度2回)



創業された事業所に祝い花を贈呈

重点項目① 企業活力強化

人手不足など経営環境変化への的確な対応、経営のライフサイクルに応じた伴走型支援

4 自己変革の実現を通じた経営力の強化 小規模事業者への伴走型支援、販路拡大支援

当所が経済産業大臣より2020年3月に認定を受けた「第二期経営発達支援計画」に基づき、小規模事業者の持続的発展を支援するため、伴走型支援を実施した。

- ① マル経融資推薦件数：122件(23年度116件)
斡旋総額：75,580万円(23年度68,360万円)
- ② 小規模事業者持続化補助金〈一般型〉
採択件数：17件(公表分のみ)(23年度117件)
- ③ 来所相談事業者数：2,262者(23年度のべ2,504者)

年間を通じた商談会（「伊達な商談会」）の開催や、催事形式による新商品・新サービスのテストマーケティング事業「仙臺ございんマルシェ」を開催し、顧客アンケート等を通じた新商品のブラッシュアップを行い、新たな販路拡大を支援した。

- ① 伊達な商談会 回数9回、商談数120件
成約数46件（成約率38.3%）
- ② 仙臺ございんマルシェ 参加数9社(飲食:5社、雑貨販売:4社)



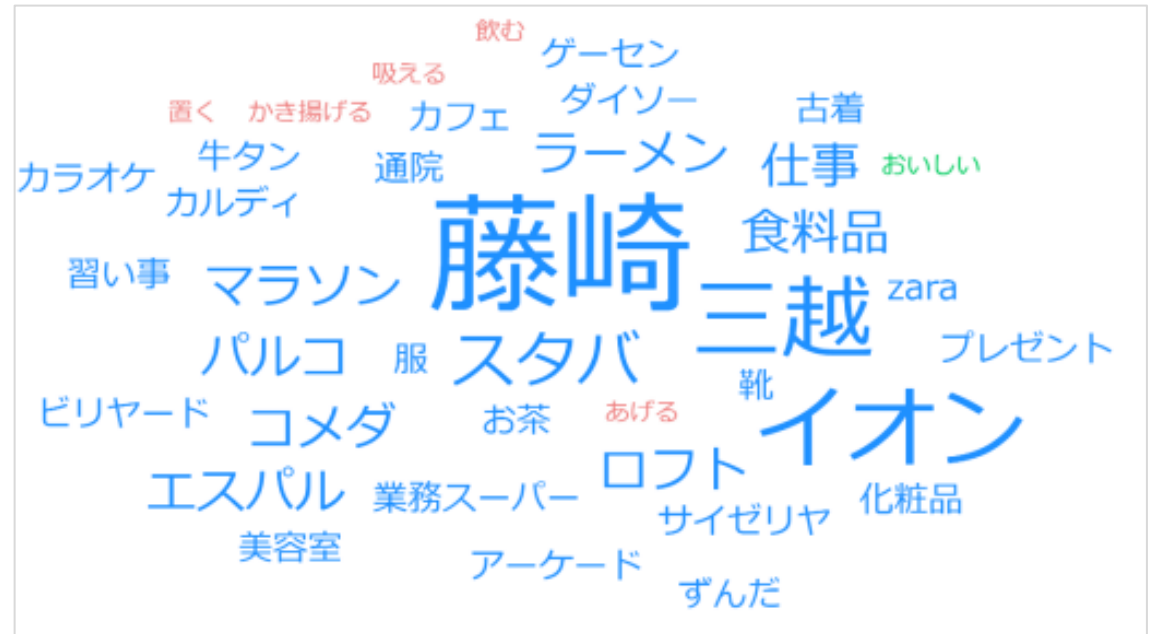
「仙臺ございんマルシェ」
当日のお昼時には近隣の会社員や買い物客が多く訪れた

重点項目② 地域力強化

世界的都市間競争を勝ち抜く仙台の都市力向上

1 まちの顔である中心部活性化、都市観光の推進 「中心部商店街来街者アンケート調査」「大学生・専門学生アンケート調査」の実施

中心市街地の活性化・面的回遊性向上を進めていくため「中心部商店街来街者アンケート調査」を実施した。2022年度の調査（WEB調査）では中心部商店街の主要な消費者である仙台市民の普段の消費意識や利用実態などを把握したが、今年度は中心部商店街を訪れた市民、観光客などを対象に対面でヒアリングを行い、WEB調査では把握することができなかった実際の来街目的、滞在時間、商店街の魅力や足りない要素などを調べた。このほか「大学生・専門学生アンケート調査」を初めて行い、若者の消費行動に関する価値観や中心市街地への意識を探った。



中心部商店街来街者アンケート調査の報告書より
目当てのお店や商品、場所などを自由に回答してもらったものを
出現頻度が多い順で可視化
※テキストマイニングツールのワードクラウドを使用

<調査時期>

① 中心部商店街来街者アンケート

5/11(土)、12日(日)、14日(火)、15日(水)

② 大学生・専門学生アンケート調査

2024/11/12(火)～2025/1/24(金)

重点項目② 地域力強化

世界的都市間競争を勝ち抜く仙台の都市力向上

2 まちの顔である中心部活性化、都市観光の推進 スマートフォン用アプリ「仙台まちいこ」を活用した街への誘客・個店の集客、回遊性向上

スマートフォン用アプリ「仙台まちいこ」を活用し、地域活性化及び市内回遊性の向上を図った。昨年に引き続き「スポまちラリー」を実施したほか、新たに「めぐまちラリー」を実施。また、年末お客様感謝祭ではハガキとの併用をやめてデジタル応募のみの方式に変更。ほかにも、仙台市や仙台市スポーツ振興事業団等と連携した4種類のスタンプラリーやクーポン事業を実施し、商店街等への誘客促進、市内回遊性向上に努めた。

<実施したスタンプラリー>

- ① スポまちラリーシーズン2実施（3/29～12/31）
- ② めぐまちラリー実施（4/20～2/2）
- ③ 仙台ハーフ×仙台まちいこスタンプラリー実施（4/26～5/13）
- ④ 全日本実業団バドミントン選手権大会応援企画
仙台まちなかクーポンの実施（6/18～24）
- ⑤ ラグビー日本代表戦仙台開催記念ラグビースタンプラリーの実施（7/12～28）
- ⑥ 年末お客様感謝祭のデジタル応募で活用（12/1～12/31）
- ⑦ 全日本学生剣道オープン大会・仙台まちなかクーポンの実施（12/13～16）

<アプリユーザー登録者数>

約43,000ユーザー（2025/3/31時点）前年同期 約12,000ユーザー 対前年比358%増



重点項目② 地域力強化

世界的都市間競争を勝ち抜く仙台の都市力向上

3 まちの顔である中心部活性化、都市観光の推進 「東北絆まつり2024仙台」「仙台七夕まつり」「仙台初売り」等を活用したシティプロモーション

○東北絆まつり2024仙台

2024年より、仙台市から2巡目をスタート。来場者は約57万人（2日間合計）となった。



郡和子仙台市長より2025年は大阪・関西万博で開催となる旨が発表された

○仙台七夕まつり

後世まで市民に愛される祭りに育てていくために全市を挙げて開催。人出は約203万6千人(3日間合計)となった。



中心部商店街で金賞を受賞した六つの飾りからグランプリを選ぶWeb投票型のコンテスト
今年のグランプリはムツミヤ

○仙台初売り

物価高の影響もあってか、食料品や日用品の人気の高さがうかがえた。中心部の大型店では、売り上げ・来店客数ともに前年を上回った。



中心部商店街でのおもてなしイベントは多くの買い物客で賑わった

重点項目② 地域力強化

世界的都市間競争を勝ち抜く仙台の都市力向上

4 まちの顔である中心部活性化、都市観光の推進 交流人口拡大に向けたイン・アウトバウンド双方向での需要喚起

2024年度は、国内線では仙台＝新潟便が新規就航（2025年3月30日より運休を発表）、国際線では仙台＝香港便が13年ぶりに復活し、3社が新規就航したことを受け、仙台空港の利用客数は速報値で377.8万人と、前年度比106.4%となった。また、東北六県商工会議所連合会としてタイミッション（5/15～5/19）を初めて実施したほか、東北観光推進機構や仙台市のミッションに参加。仙台空港国際化利用促進協議会による「団体旅行バス借上助成事業」や「パスポート取得費用サポートキャンペーン」を通じて、旅客拡大に努めた。

<主な新規就航、チャーター便運航状況>

- ① トキエア（4/26仙台－新潟線 新規就航）
- ② グレーターベイ航空（7/17-8/11仙台－香港チャーター便 計6往復）
（12/7仙台-香港線 新規就航 週4便）
- ③ マレーシア航空
（12/12-1/1仙台－クアラルンプールチャーター便 計5往復）
- ④ 香港航空（12/18仙台－香港線 新規就航 週3便）
- ⑤ 香港エクスプレス（1/17仙台－香港線 新規就航 週4便）



仙台-香港線の復活を祝うセレモニー
(2024年12月7日@仙台空港)

重点項目③ 組織力強化

ステークホルダーの成長・発展を支える組織力強化

1 県・市への要望・提言、日本商工会議所を通じた国への要望・提言、メディアを通じた発信

震災からの復興の完遂と福島再生および地方創生の実現について、日本商工会議所や、東北六県連・宮城県連等と連携しながら、復興庁や関係省庁、宮城県に対して実施した。

また、仙台の都心まちづくり、地域経済活性化に向けて、仙台市二役と当所執行部との懇談会を開催。議員懇談会で寄せられた現場の声を「仙台市の持続的発展に向けた共有事項」としてとりまとめ、郡仙台市長に書面で手交した。



日商小林会頭に要望書を渡す藤崎会頭
(2024年12月@東京)



興水復興副大臣に要望書を渡す日商小林会頭
(2025年3月@東京)



郡仙台市長へ共有事項を渡す藤崎会頭
(2025年2月@仙台商工会議所)

重点項目③ 組織力強化

ステークホルダーの成長・発展を支える組織力強化

2 多様な会員ニーズや社会・経済環境の変化に対応するための
部会再編、財政安定化に向けた取り組み

10月22日に開催された臨時議員総会において、会費改定と部会再編成について審議され、会費単価および部会の所属について下記のとおり2025年4月から変更することが正式に承認された。

＜会費改定＞ 会費単価を現行の1口5,000円から6,000円へ改定

- ＜部会の再編成＞ 文化観光部会に所属する会員事業所のうち、
- ①まちを構成する生活に密着した業種は小売商業部会に編入し商業部会に改名
 - ②経営サポートに関連する業種は理財部会に編入し金融・経営サポート部会に改名
 - ③建設・工業に関連する業種は工業部会に編入し建設・工業部会に改名
 - ④不動産に関連する業種は不動産部会に編入
 - ⑤運輸に関連する業種は交通運輸部会に編入
 - ⑥貿易部会は卸売商業部会に編入し卸売・貿易部会に改名

【新たな部会編成と業種分類】

部 会	業 種 分 類
①商業部会 (旧「小売商業部会」)	一般小売、 <u>理美容</u> 、 <u>エステ</u> ・ネイルサービス、 <u>クリーニング</u> 、 <u>冠婚葬祭</u> 、 <u>娯楽</u> 、 <u>医療</u> 、 <u>はり・きゅう・マッサージ</u> ・ <u>柔道整復</u> 、 <u>福祉</u> ・ <u>介護</u> 、その他商業に関する業種
②卸売・貿易部会 (旧「卸売商業部会」・「貿易部会」)	一般卸売、 <u>貿易</u> 、その他卸売・貿易に関する業種
③建設・工業部会 (旧「工業部会」)	総合工事、 <u>職別工事</u> 、 <u>建築設計</u> 、 <u>測量</u> 、食料品・繊維・木材・木製品・化学・窯業・機械器具・鉄鋼等製造、印刷、 <u>機械等修理</u> 、電気・ガス供給、その他建設・製造に関する業種
④金融・経営サポート部会 (旧「理財部会」)	銀行・信託、保険、証券、金融商品取引、物品賃貸業(リース)、 <u>土業</u> 、 <u>経営コンサルタント</u> 、その他金融・経営サポートに関する業種
⑤不動産部会	不動産の売買・交換・賃貸・管理・仲介、 <u>ビル管理</u> ・ <u>メンテナンス</u> 、その他不動産取引に関する業種
⑥交通運輸部会	旅客・貨物運送、倉庫、自動車販売・ <u>整備</u> 、その他交通運輸に関する業種
⑦文化観光部会	ホテル・旅館、飲食サービス、旅行、通信、放送、新聞、出版、ソフトウェア、情報処理、インターネットサービス、広告、写真、獣医、教育・学習支援、廃棄物処理、職業紹介・労働者派遣、警備、その他文化観光に関する業種

※赤文字が部会を移動する業種

重点項目③ 組織力強化

ステークホルダーの成長・発展を支える組織力強化

3 業界の垣根を越えた会員交流会の実施や共済・保険制度による福利厚生支援

会員事業所の新たな人脈形成や情報交換、ビジネスパートナー発掘に向けた機会創出の場として、会員ビジネス交流会を開催し、地元企業のビジネスチャンス拡大を支援した。

<会員交流会ほかの開催>

- ①会員ビジネス交流会：10回開催（のべ440社参加）
- ②支店長交流会：仙台に支店や営業所を構える出先企業の支店長を対象とした交流会を2回開催(延べ206社参加)
- ③新年のつどい：新年の賀詞交歓会を仙台国際センターで開催（参加者1,085人）

「経営リスクへの備え」「従業員の福利厚生の充実」など、事業主の課題に合わせた共済・保険制度のサービス提供を行った。

<共済・保険制度による福利厚生支援>

- ①各種キャンペーンの実施
- ②損害保険推進パートナー制度（10社）



全会員交流会・自由交流の様子
(2025年1月15日@当所7階大会議室)

その他の主な活動事業

1 スタートアップ企業と地元企業の連携促進

地域企業がスタートアップ企業を理解・認知し、相互の連携促進を後押しする機運を高めるため、議員向けにスタートアップ企業の講演会を開催。講演内容は月報飛翔にも掲載し、全会員向けにも地元スタートアップ企業の取り組みを紹介した。（講演回数：5回）

10/22講演 輝翠TECH(株)の農業AIロボットの使い方
(アタッチメントの追加で様々な農作業を自動化を目指す)

図.Adam運搬の使い方



5/21講演 ストーリーライン(株)の技術比較
(おいしいカフェインレスコーヒーを作り、「コーヒー農家の絶対的貧困」の解決も目指す)

図1.従来技術との比較

デカフェ工法		特 徴
他社技術	有機溶媒法	安全性に問題(日本に輸入不可) 健康に有害な化学物質を使用
	水処理法	長時間浸水により有効成分が溶出 大量の水を使う(環境負荷大) 特にクロロゲン酸損失大
	液体CO2抽出法	長時間処理により有効成分が溶出
当社技術	超臨界二酸化炭素抽出法	カフェインのみを選択的に抽出 人体に安全、環境にやさしい

その他の主な活動事業

2 観光需要の喚起と市内商店街の活性化によるにぎわい創出

一番町四丁目商店街の夜間のにぎわい創出を目的とした、「BangBARSENDAI（バンバルセンダイ）」を初めて開催し、イベント実施中の通行量が通常時と比べて25%増となったほか、既存店舗にも大きな効果が現れた。（実行委員会：同商店街振興組合、仙台市、当所等で構成）

開催期間：9月～12月（計4回16日間開催）

ポストコロナ禍における都市間競争が激化する中、仙台の優位性や魅力の発信を通じて広く仙台に興味を持っていただき、さらなる交流人口の拡大や投資を呼び込むことを目的として、仙台市と連携し、プロモーションイベントを実施した。

①首都圏プロモーション 11/7（八芳園）

②就航地プロモーション

・6/20～6/22（札幌市内）

・7/5～7/7（大阪市内）



バンバルセンダイ初回開催の様子
期間開催中はキッチンカーや出店が商店街に並び、
飲食を楽しむ来街者の姿が見られた

その他の主な活動事業

3 適正な価格転嫁の推進

地域企業における成長と分配の好循環を生み出し県内中小企業の稼ぐ力を高めることを目的に、宮城県商工会議所連合会が関係10機関とともに昨年締結した「価格転嫁の円滑化に関する協定」を今年度も延長。小売商業部会では地域経済の成長モデルをテーマにした講演会を実施し、機運醸成やパートナーシップ構築宣言の推進を図った。

①協定締結機関：11機関
(東北経済産業局、宮城県、経済団体など)

4 人手不足への対応

企業の人手不足解消に向けて、人材の定着、外国人採用の取り組み事例をセミナーや当所月報で解説した。



「飛翔」9月号特集



「飛翔」3月号特集

その他の主な活動事業

5 自然災害への対応支援

2024年1月1日に発生した能登半島地震への対応として、日本商工会議所の呼びかけに応じて、当所職員である経営支援員3人（累計4人）を石川県「能登事業者支援センター」に派遣した。（2025年度も継続支援）

また、自然災害など経営リスクへに備えるため、BCP（事業継続計画）策定セミナーの開催や、損害保険会社専門家との連携によるBCP等の策定支援を行った。



支援センター内の様子
全国商工会議所の経営支援員などが常駐で相談対応

6 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）への協力

2025年4月13日～10月13日まで開催される2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）について、当所月報へのチラシ挟み込みによる割引チケットの販売協力、特集記事の掲載を通じて、日本商工会議所など経済界一体となった機運醸成に取り組んだ。

当所窓口でのチケット販売実績
＜超早期購入割引チケット＞ 195枚（14事業所）
＜早期購入割引チケット＞ 25枚（7事業所）

第5期中期ビジョンと事業計画は当所ホームページで公開しています

中期ビジョン

<https://www.sendaicci.or.jp/aboutus/vision-medium.html>



事業計画

<https://www.sendaicci.or.jp/aboutus/plan-report.html>

